

広報させば 情報カレンダー 04. 4月



日	月	火	水	木	金	土
西海橋・桜まつり かえる展 毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談(5月は12日) 毎月第2金曜 発明相談(10時~15時30分、市役所10階)	~4月11日 ~5月30日			1 不動産鑑定士による無料相談会 山澄地区公民館、山澄児童センターがオープン	2	3
4	5	6 西海橋・観潮会 ウイーク~11日	7 市立中学校で入学式 中小企業金融公庫出張相談	8 市立小学校で入学式	9 発明相談	10 天体観望会(24日も)
11 ハンギングプランター作り講習会	12	13 出前保育「みんなよっといでー!」	14	15	16 春の花市~25日	17
18 チャレンジ科学工作教室	19	20	21 2004ながさき陶磁展・三川内展~25日 市立総合病院の健康教室	22 ふるさとダービー 佐世保~25日	23	24 動物舎探検隊
25 春のスケッチ大会 親子であそぼ! ヒツジの毛刈り、羊毛フェルトでブローチを作ろう	26	27	28 出前保育「みんなよっといでー!」	29 みどりの日 2004ながさき陶磁展・波佐見展~5月5日 サンセットクルーズ	30	

5月の主な行事予定

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| 5/1 三川内焼・はまぜん祭り~5日                    | 5/9 春のバラフェスティバル、<br>バードスクール、<br>パールクイーン・パパママサンセット<br>クルーズ |
| 5/5 市亜熱帯動植物園で中学生以下の入園無料、<br>こどもの日クルーズ |   |
| 5/7 早岐茶市・初市~9日                        |   |

テレホンガイド

**救急・火災**

医療機関案内 ☎23-8199

火災情報 ☎0180-999-999

**エイズ相談・性感染症相談**

専用相談電話 ☎0120-104-783

Eメールアドレス shc783@city.sasebo.lg.jp

**教育相談**

青少年教育センター ☎22-0077

(毎月第2、4木曜の17時30分~20時30分には、夜間相談も受け付けます)

**女性相談**

スピカ ☎24-6180

(水曜と祝日を除く毎日、9時~16時)

**4月の健康テレホン**

県保険医協会 ☎23-4300

3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます

月 脂肪肝 火 膵臓がん

水 新学期、新入生への注意

木 じんましん 金 摂食障害

土、日 性欲がない(性欲の低下)

人のうごき (3月1日現在)

**総人口** 239,648人 (-173)

男 112,758人 (-89)

女 126,890人 (-84)

**世帯数** 93,259世帯(-108)

2月中のうごき

**転入** 560 **転出** 681

**出生** 160 **死亡** 212

見て、聞く  
させば  
市政だより

**テレビ** 毎週土曜日放送(約5分間)

NBC(9時25分) NIB(11時25分)

NCC(11時40分) KTN(17時25分)

**ラジオ**

NBC 毎週日曜日 9時10分

FM長崎 毎週火曜日 9時05分

**長崎新聞** 毎月第2、4水曜日広告欄

フロイスの「日本史」にも登場する針尾伊賀守の居城  
小鯛城跡の発掘調査を開始



小鯛城跡遠望

**とき** : 4月20日(火)  
~7月2日(金)

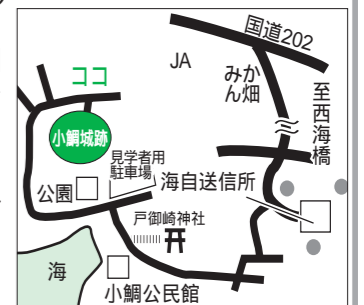
**ところ** : 針尾中町・小鯛城跡  
発掘調査現場

土、日曜、祝日は作業を休みます。また、4月中は雑木伐採など危険を伴う作業が主体となるため、見学はできません。

【小鯛城の歴史】

小鯛城跡は、針尾城跡とも呼ばれ、針尾島の西南端部にある小鯛浦の北、標高28mの港に面する所にあります。本丸跡の北側には二重の空堀と土塁が築かれています。イエズス会の宣教師ルイス・フロイス(1532~1597年)の「日本史」に針尾伊賀守の城として書かれています。伊賀守は、戦国時代の末期にポルトガル貿易港であった横瀬浦(現西海町)の奉行をしていました。

今回の発掘では、城主の館跡や輸入陶磁器などの出土が期待されています。



歴史散歩 465  
大智庵二世庵主の預修碑か? (瀬戸越3)

松浦鉄道泉福寺駅のすぐ北側に、「為河棚先祖代々」と書かれた2基の六地蔵があり、そばに数基の緑泥片岩製宝篋印塔と五輪塔が集められています。その一つに「預修 寛正2年 当庵二世」の文字が読み取れる宝篋印塔の塔身があります。これは、すぐ東の小山の上に宗家松浦が城を築く以前の、僧侶が営んだ大智庵の二世庵主の可能性が考えられます。



市の「小字地図」によると、この地は「新村」。寛正2(1461)年に二世庵主がいて、自分の極楽往生を願って預修碑を建てたとすれば、それ以前に新しい集落ができ、共同体の中心となる庵を営んだのでしょう。赤松俊秀監修「日本仏教 中世篇」には「集落生活に溶け込み、

特別な儀礼をとり行うものとして、共同体の仕事の中に位置づけられていた」と、室町時代当時の地方の庵寺の状況を述べています。戦国時代末期ごろに書かれたと思われる、平戸の松浦資料博物館蔵の「相神浦惣図」には、山口、中里、皆瀬、大野の4

庄屋の所在が黄色で大きく描かれ、仏教施設名としては唯一「大智庵」が表示されています。

平安時代、源氏の一族を名乗る人物が松浦の地に土着して松浦を姓にし、その後、宗家(本家)の丹後守定が大智庵に城を築くのが延徳2(1490)年。その城も対立していた平戸松浦に攻められて8年後に落城します。泉福寺の地名は、

約100年ほど後の文書に出

てきますが、大智庵はこの地方の寺に先がけて営まれた仏教施設でしょう。(筒井隆義)

